



新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応

カワセミハウスはコロナの感染が広まった3月に集会室が使用中止、さらに4月・5月は休館となりましたが、5月25日に緊急事態宣言が解除されたのを機に6月2日に再開されました。来館者数、集会室利用者数など前年に比べまだまだ少ない状況ですが、久しぶりに集会室を利用するためにハウスを訪れる人の姿や、子どもたちの歓声や笑い声など賑やかさと活気が少しずつ戻ってきています。

3～5月の3か月間でアートディレクション事業発表会や黒川かわせみサロンなどイベントの中止、市民講座の開講延期、申込み済みの180件以上の会議や集会などが中止になりました。ちなみに昨年3～5月の来館者カウンター数は19,700、集会室の使用回数は230回、集会室使用者数は3600人でした。

令和2年度第1回カワセミハウス協議会が開催されました

6月27日(土) 10:30～12:00、27団体と個人1名が出席し開催されました。

<主な報告事項>

- ・2020年度協議会会員報告(事務局)
- ・環境分科会から活動報告
- ・2019年度のカワセミハウス使用状況の報告(事務局)

<主な議題>

- ・2020年度協議会役員を選任について
今年度の協議会会長、副会長の選任があり、会長には昨年度に続き黒川自治会荒木会長、副会長はともに前任の黒川防災会の中村氏、東豊田緑湧会の小太刀氏が選任されました。
- ・オクトーバーフェスト2020について
コロナウイルス感染の影響を踏まえ、検討後の中止も含め実施の方向で検討することが決まりました。今年のテーマとして「地域のつながり、出合いを大切に支えあおう～今だからこそできること～」が提案され、10月3日(土)開催を目指して、本部企画や団体PR出店などについて実行委員会で検討していきます。
- ・そのほか、カワセミハウス運営について7月のガイドラインの説明、駐車場の利用についての再確認などについても話し合われました。

*次回第2回カワセミハウス協議会は8月8日(土)開催の予定です。

市民の方々を対象とした3つの講座がスタートしました

●第12期市民環境大学 7月2日(木)開校

市民環境大学は、地球規模から身の回りの環境まで幅広く考え、正しく知ること、問題解決のためにみんなのできることを実践していくことを目的とした講座です。

今期の講座生は26名です。講座はコロナ感染の影響で短縮、前期(7月)は3回、後期(10月～12月)10回の合計13回開かれます。講座の内容は身の回りの環境の基礎から大学で行っているような専門的なものまで含んでいますが、いろいろな事例や最近の話題なども取り上げわかりやすく解説します。また、応募した市民の方々とともに黒川清流公園の野鳥を中心に湧水や植物などについて現場で学ぶ公開講座も開催します。

●第16期日野雑木林ボランティア講座 7月11日(土)開講

日野市雑木林ボランティア講座は、明るく健全な雑木林を維持管理し次世代に引き継いでいくために、専門的な知識や技術を習得した雑木林ボランティアを育成し、新しい緑の保護団体を設立したり、既存の緑の団体で活躍していただくことを目的とした講座です。

今期の講座生は20名です。講座は雑木林の現状や役割など基本的な講義から始まり、チェーンソーの実習、手道具や刈払い機の使い方など雑木林の管理ノウハウについて、1年間全11回にわたり開講します。

●第3期黒川マイスター講座 6月26日(金)開講

黒川マイスター講座は、日野市の宝である黒川清流公園の魅力学び、日野市ならではの身近な自然環境の大切さを次世代に伝える市民リーダーを育成することを目的としています。

今期の講座生は6名です。講座は1年間全11回で黒川清流公園の歴史や地形、湧水の状況を学んだり、昆虫や野鳥、植物など公園の自然を観察し、生物多様性について考えます。また、1、2期講座のOBの方々が月1回集まり、講座で学んだ知識をより深化する活動なども実践しています。

みんなの環境セミナー

「駅のツバメ」 6月13日(土) 9:30~12:00 開催

2017年から毎年開催してきましたが、今年はコロナウイルス感染予防のため定員を少なく設定して実施しました。講師は「銀座のツバメ」の著者で田野の自然を守る会の金子凱彦氏にお願いしました。当日はあいにくの雨でしたが、8名(大人5名、子ども3名)が参加しました。

豊田駅北口周辺では巣づくりのためにせっせと泥を運んでいるペアもいて、じっくり観察することができました。駅前のファミリーユ京王の壁面にある巣ではメスが抱卵中で、巣のすぐ近くでオスがしっかりガード、近くに来た他のオスを激しく追い払うシーンも見られました。1回目の繁殖が終わった巣や抱卵中の巣が多かったようですが、駅の近くにある住宅の巣には5羽のヒナがいて、親鳥が餌を運ぶところも観察できました。

参加者からは「ツバメの巣をじっくりと見たのは初めてで楽しかった」「金子先生のお話が興味深く、今後ツバメを見る目が変わってくると思う」「ツバメの餌とりの仕方やヒナの巣立ちについて知ることができよかった」などといった声が聞かれました。



ファミリーユ京王壁面の巣では抱卵中のメスをオスがしっかりガード

イオンモールで開催決定！ 「黒川清流公園の身近な自然写真展」

田野市の宝である身近な自然環境の大切さをテーマに、水と緑豊かな「黒川清流公園」と「東豊田緑地保全地域」の自然をたくさんの写真で紹介いたします。

湧水が潤す清流公園の池や水路、四季の森の様子、森を訪れる野鳥や昆虫たち、多種多様な樹木や草花など、カワセミハウスのスタッフが撮影した写真をとおして、田野市ならではの魅力を再発見してみましょう。

開催日時：8月7日(金)
～13日(木)
会場：イオンモール多摩平の森2階
グリーンパークストピック横

8月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。皆さんお誘いあわせの上、是非ご来場ください。

*問い合わせ：カワセミハウス ☎ 042-581-1164

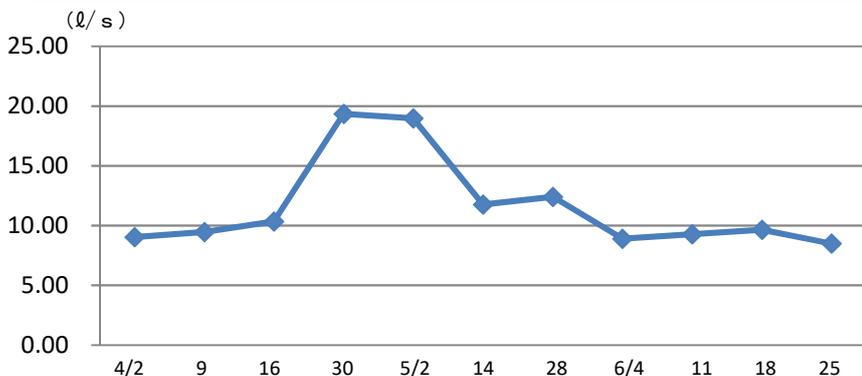


オオブタクサ 引き抜き大作戦

6月27日(土) 9時~10時、カワセミハウス恒例の「オオブタクサ引き抜き大作戦」を開催。カワセミハウス協議会メンバーと市民有志合計30名が参加し、東豊田緑湧会の協力を得てハウス北側の緑地や植え込みなどを中心に特定外来種オオブタクサを引き抜きました。今年は、引き抜いたオオブタクサの葉を植物の生長抑制剤として活用したいという(株)エコテクノスからの申し入れがあり、約50Kgの葉が回収されました。これまで花粉症や特定外来種として厄介者扱いされてきたオオブタクサですが、農業の役に立つ原材料として利用されることに参加者一同大いに感心しました。

黒川清流公園の水路での湧水量測定結果 (2020年4月~6月)

カワセミハウスでは2017年4月から毎週木曜日の朝、黒川清流公園あすまや池出口の水路で湧水量を測定しています。また、湧水量に大きな影響を与える降水量については、アメダス八王子地区降水量を参考にしています。



4月~6月の月毎の
平均流量、月間推定流量、月間降水量

測定月	4月	5月	6月
平均流量(l/秒)	12.1	14.4	9.1
月間推定流量(t)	31,234	38,533	23,561
月間降水量(mm)	310	65	155

*4~6月合計の降水量530mm、月間推定流量93,300 t は、4~6月の合計としては2017年以降ではいずれも最多となりました。特に4月と5月の月間推定流量は昨年の4月、5月と比べそれぞれ2倍となっています。

黒川清流公園の湧水量測定調査 2017年4月～2020年3月

カワセミハウスでは2017年4月のオープンを機に、隣接する黒川清流公園での湧水調査を開始しました。その目的は、日野市を象徴する水と緑豊かな「黒川地域」の恵まれた環境を次の世代へ良好な形で引き継ぐための資料としていくことです。



調査は毎週木曜日の朝、黒川清流公園のあずまや池とわきみず池のそれぞれ出口水路で行っています。水路幅、水深、流速を測定し、これらのデータをもとに1秒当たりの流量を算出します。また水温や気温、電気伝導率も測定、湧水量に大きな影響を与える降水量についてはアメダス八王子地点の降水量を参考にしています。

今回はあずまや池の出口水路のデータを中心に、2017年4月から2020年3月までの3年間の湧水調査をとおして見えてきたことをご報告します。

●雨がたくさん降ると湧水量が増えます

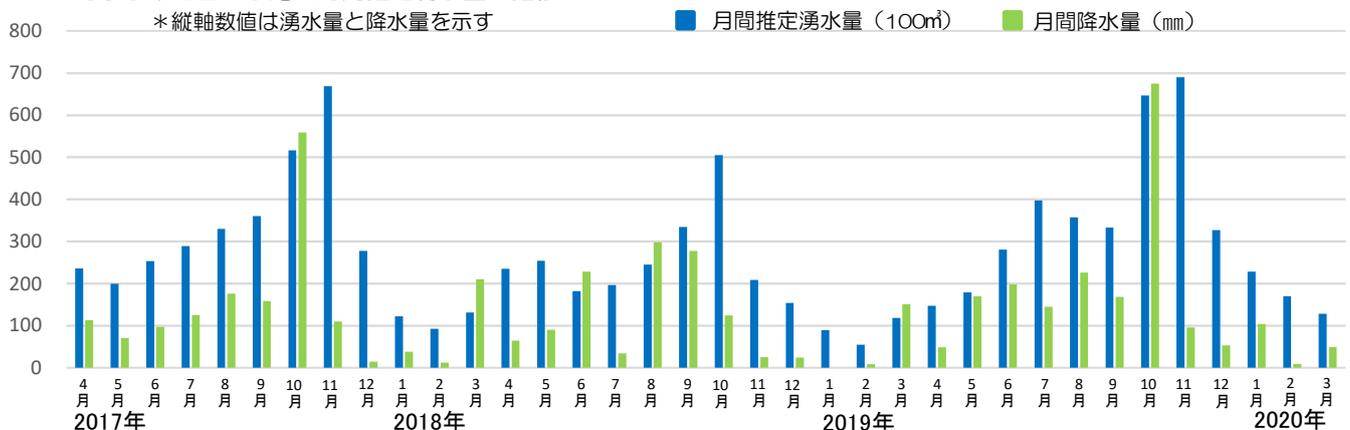
3年間の月ごとの推定湧水量と降水量をまとめた下記のグラフを見ていただくとわかるように、大雨が降った当月と翌月の湧水量が大幅に増えています。最も湧水量が多かった2019年11月(69,000m³)は前の月の10月に台風19号などによる大雨で675mmという記録的な降水量になっています。また、2番目に湧水量が多かった2017年11月(66,900m³)も10月に台風21号の影響などで559mmの大雨が降りました。

年度ごと(4月～翌年3月)の総湧水量と総降水量を下の表で見てください。湧水量と降水量の前年比はほぼ同じです。湧水量は雨の降る量に比例して増減しているようです。



	2017年度	2018年度	前年比	2019年度	前年比
湧水量 (m ³)	347,500	257,400	74%	388,400	151%
降水量 (mm)	1,682	1,321	78%	1,937	147%

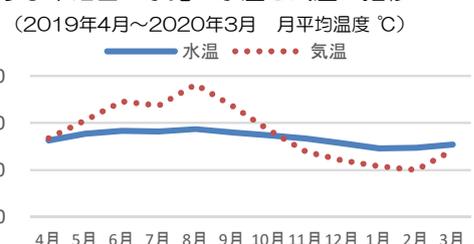
＜あずまや池出口水路の月間推定湧水量の推移＞



●湧水の水温は気温に左右されずほぼ一定です

2019年度の月ごとの平均気温は8月には28℃を超え、2月は10℃となりましたが、湧水の平均水温は右のグラフのとおり14～19℃で推移しています。年平均の水温も2017年度16.5℃、猛暑の2018年度も水温は16.8℃、2019年度は水温16.9℃とほとんど変わりません。夏は冷たく、冬は温かく感じる湧水に触れてみてください。

＜あずまや池出口水路の水温と気温の推移＞



●水路に流れ込む水の量が減っている？

あずまや池出口の測定地点から約300m下流のわきみず池近くの測定地点での湧水量は、2017年度にはあずまや池出口の約2倍の湧水量がありましたが、2019年度は約1.6倍になっています。この3年間でだいぶ減っています。あずまや池からわきみず池の測定地点までの水路へ途中から流れ込む水の量が減っているのかもしれませんが、今後も注意深く見ていきたいと考えています。

*この報告は「清流news」2020年7月1日号(緑と清流課発行)に掲載されたものです。

7月後半～10月前半に開催される主なイベント、行事の予定をお知らせします

みんなの環境セミナー

●黒川清流公園で昆虫採集をしよう！

7月23日（木・祝）9：30～11：30 開催。講師は日野の自然を守る会 森川正昭氏と関根孝子氏。黒川清流公園で親子で昆虫採集をして虫たちの生態を観察します。定員は親子10組、先着順。7月1日発行の広報「ひの」でお知らせしましたが、定員に達しました。

●トコロジストになろう！～黒川マイスター講座の公開講座～

7月25日（土）10：00～16：00 開催。講師は（公財）日本野鳥の会 箱田敦只氏。トコロジストとはどんな人？その活動内容は？トコロジストを目指してみんなで学びましょう。定員は10名、先着順。定員は10名、で

●里山づくり～雑木林ボランティア講座の公開講座～

10月10日（土）9：30～15：00 開催。講師は明治大学農学部教授倉本宣氏。雑木林のボランティア立ち上げや雑木林管理の事例を通し、里山では植生管理だけでなく生物多様性の観点から生態系管理が重要なことを学びます。定員は20名、先着順。10月1日発行の広報「ひの」でお知らせします。

カワセミハウス写真展

●日野の昆虫たち

7月23日（木・祝）と24日（金・祝）の2日間、昆虫採集のセミナーと連動しての開催です。日野市内で見られる昆虫たちを森川正昭氏提供の迫力満点の写真に加え貴重な標本も多数展示し紹介します。

●日野の魚たち

9月下旬開催。浅川や多摩川、用水路や湧水の流れに棲む魚たちを紹介しながら、今・そしてこれからの水辺について考えます。写真は鶴田大三郎氏提供です。9月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。

黒川かわせみサロン

第31回サロン 9月 1日（火）

第32回サロン 10月 6日（火）

毎回14時～16時開催。参加費は100円。日野市内にお住まいの高齢者の方を中心に、だれでも気軽に参加できる楽しいふれあいの場です。

C-plant まるっと

第14回 8月 9日（日）

第15回 9月13日（日）

第16回 10月11日（日）

中央大学を中心とする学生が運営しているボランティア団体C-plantが、子どもたちの学習支援や遊ぶこと、食べることを通して新しい地域の居場所をつくることを目指す活動です。



環境分科会の活動

●第3回カワセミハウス環境パネル展

8月27日（木）～30日（日）開催。市内で環境活動を展開する団体が参加し、それぞれ工夫を凝らして制作したパネルでその活動を紹介します。8月15日発行の広報「ひの」でお知らせします。

水と緑の日野・市民ネットワーク主催シンポジウム

「ヨーロッパの水車と日本の水車～用途と仕組み～」開催

開催日時：9月26日（土）13時～17時

講師：産業考古学会理事 小坂克信氏

会場：カワセミハウス

水車研究の第一人者小坂克信氏の基調講演に続いて、日野市の水車、マイクロ水車発電などの話題も提供します。

★2020 オクトーバーフェストのお知らせ★

10月3日（土）午後、オクトーバーフェストの開催が予定されています。カワセミハウスのオクトーバーフェストはドイツ生まれの「オクトーバーフェスト」の楽しい文化と「豊田ビールの価値」を多くの人に知ってもらいながら、地域の交流の輪を広げるお祭りで、今回で4回目の開催となります。新型コロナウイルス感染拡大による自粛で失われつつあったつながりを取り戻す機会をつくれることに期待しています。



開催予定日は今後変更される場合があります。ご了承ください。

コロナウイルス感染の状況によっては開催中止となる場合があります。

《カワセミハウス施設概要》

開館時間：9：00～21：30

休館日：毎週月曜日、年末年始（月曜日が祝日の場合はその翌日）

情報発信ラウンジ：環境・地域のコミュニティの場や、散策時の休憩所としてご利用できるフリースペース

オープンキッチン：IHクッキングヒーターやオープンレンジを常備

集会室：会議等で利用できる集会室3室（各室約30名収容）

可動式パーテーションを取り払い大きな部屋として使用可能

その他、授乳室、芝生広場もあります。

申請方法：使用日の属する月の3か月前の1日（各月最初の開館日）から使用当日までにハウス窓口に使用申請書を提出

*電話での仮予約も可能ですが仮予約後7日以内に窓口申請が必要です。

使用料：集会室1・2・3とも

午前（09：00～12：00） 300円

午後（13：00～17：00） 400円

夜間（18：00～21：30） 350円

全日（09：00～21：30） 1,050円

*集会室は1室ごとの料金です。

*環境市民団体や自治会等は使用料が減免になる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

*集会室以外は無料で利用できます。

発行 日野市立 カワセミハウス

〒191-0052 東京都日野市東豊田3-26-1

Tel/fax：042-581-1164

Eメール：kawasemihouse@j.com.zaq.ne.jp